

令和元年度下半期水道事業 業務状況説明書

1 事業の概況

安全・安心な給水を継続するため、昨年度に引き続き、管網未整備路線や区画整理地区における配水管の布設、老朽化した配水管や浄配水場施設の更新を実施しました。

拡張事業では、991,672,493円を投じ、管網未整備路線の出水不良の改善と、区画整理地区における配水管布設工事を行い、口径75～800mmの配水管を6,566m布設しました。

また、平成30年度から令和元年度の2カ年継続事業である神根浄水場第1配水池耐震補強工事を実施しました。

改良事業では、3,788,065,121円を投じ、老朽铸铁管等の更新工事として、口径75～1000mmの配水管等を14,872m布設しました。

また、平成30年度から令和元年度の2カ年継続事業である石神配水場自家発電装置更新工事のほか、西中学校ほか水質モニター装置更新工事、石神配水場県水受水流量計（大久保系）更新工事等を実施しました。

2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

（1）収益的収支の状況

収益的収入における給水収益の決算額は10,497,425,149円で、予算現額10,649,804,000円に対し執行率98.6%、受託工事収益は98,997,686円で、予算現額118,047,000円に対し執行率83.9%、水道利用加入金は705,561,600円で、予算現額717,132,000円に対し執行率98.4%となりました。

これらに、その他営業収益、長期前受金戻入、消費税還付金等を加えた収入総額は12,244,557,762円で、予算現額12,369,512,000円に対し99.0%の執行率となりました。

一方、収益的支出の決算額は11,323,222,150円で、予算現額11,845,673,000円に対し95.6%の執行率となりました。主な内訳は、営業費用10,834,372,213円、企業債の支払利息等479,195,499円、特別損失6,656,269円となっています。

以上の収支により、本年度の消費税及び地方消費税込みの利益は921,335,612円となりました。

（2）資本的収支の状況

資本的収入の主なものは企業債2,300,000,000円で、このほか、固定資産売却代金、受託工事収入、一般会計負担金、県補助金を加えた決算額は2,454,828,134円となり、予算現額2,580,857,000円に対し95.1%の執行率となりました。

一方、資本的支出の決算額は6,468,322,193円で、予算現額7,251,848,000円に対し89.2%の執行率となりました。内訳は、建設改良費4,827,897,028円、企業債償還金1,640,425,165円となっています。

3 給水状況

本年度末日の給水人口は608,385人で、前年度に比べ3,717人（0.6%）増、給水世帯数は291,998世帯で、前年度に比べ5,114世帯（1.8%）増となっています。

年間総配水量は64,078,005^mで、前年度に比べ631,969^m（△1.0%）の減となり、有収水量は57,754,966^m、有収率は90.13%となっています。

収益的収入及び支出

1 収入

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	予算残額 (円) B-A	執行率 B/A (%)
給水収益	10,649,804,000	10,497,425,149	△ 152,378,851	98.6
受託工事収益	118,047,000	98,997,686	△ 19,049,314	83.9
水道利用加入金	717,132,000	705,561,600	△ 11,570,400	98.4
その他営業収益	531,676,000	525,471,733	△ 6,204,267	98.8
受取利息	1,534,000	2,084,936	550,936	135.9
長期前受金戻入	249,879,000	249,891,058	12,058	100.0
雑収益	26,320,000	28,625,415	2,305,415	108.8
消費税還付金	63,846,000	83,493,103	19,647,103	130.8
固定資産売却益	0	363,856	363,856	—
過年度損益修正益	1,000	844,363	843,363	84436.3
その他特別利益	11,273,000	51,798,863	40,525,863	459.5
計	12,369,512,000	12,244,557,762	△ 124,954,238	99.0

(消費税及び地方消費税込みで表示)

2 支出

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	予算残額 (円) A-B	執行率 B/A (%)
原水及び浄水費	4,711,742,000	4,588,275,362	123,466,638	97.4
配水及び給水費	2,379,256,000	2,198,072,701	181,183,299	92.4
受託工事費	161,467,000	136,308,920	25,158,080	84.4
業務費	978,945,000	908,613,622	70,331,378	92.8
総係費	319,473,000	262,890,005	56,582,995	82.3
減価償却費	2,707,902,000	2,678,359,356	29,542,644	98.9
資産減耗費	46,257,000	61,852,247	△ 15,595,247	133.7
支払利息	498,244,000	479,195,499	19,048,501	96.2
雑支出	3,789,000	2,998,169	790,831	79.1
固定資産売却損	859,000	472,350	386,650	55.0
過年度損益修正損	7,739,000	5,925,138	1,813,862	76.6
その他特別損失	258,781	258,781	0	100.0
予備費	29,741,219	0	29,741,219	0.0
計	11,845,673,000	11,323,222,150	522,450,850	95.6

(消費税及び地方消費税込みで表示)

資本的収入及び支出一覧

1 収入

科 目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	予算残額 (円) B-A	執行率 B/A (%)
企業債	2,300,000,000	2,300,000,000	0	100.0
固定資産売却代金	84,000	509,254	425,254	606.3
受託工事収入	206,300,000	80,457,000	△ 125,843,000	39.0
負担金	70,236,000	69,624,880	△ 611,120	99.1
補助金	4,237,000	4,237,000	0	100.0
計	2,580,857,000	2,454,828,134	△ 126,028,866	95.1

(消費税及び地方消費税込みで表示)

2 支出

科 目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	予算残額 (円) A-B	執行率 B/A (%)
建設改良費	5,611,422,000	4,827,897,028	783,524,972	86.0
企業債償還金	1,640,426,000	1,640,425,165	835	100.0
計	7,251,848,000	6,468,322,193	783,525,807	89.2

(消費税及び地方消費税込みで表示)

給水の状況

区 分	令和元年度	平成30年度 A	差 引 B (元年度-30年度)	増減率 B/A (%)
給水人口 (人)	608,385	604,668	3,717	0.6
給水世帯数 (世帯)	291,998	286,884	5,114	1.8
総配水量 (m ³)	64,078,005	64,709,974	△ 631,969	△ 1.0
1日平均配水量 (m ³)	175,077	177,288	△ 2,211	△ 1.2

地方債現在高

令和2年3月31日現在

1 地方債

借入先	水道会計
財政融資資金	千円 23,084,241
地方公共団体金融機構	6,005,902
合計	29,090,143

令和2年度水道事業 予算概要

1 事業の概況

本市水道事業は、中長期経営計画である「アクアプラン川口21～第3次川口市水道ビジョン～」において、「安全・安心と真心を いつでもお客様のもとへ」を事業運営の基本理念として掲げています。

この基本理念を実現するため、平常時だけでなく、災害時にあっても安全・安心な水道水を安定してお届けできるように、各事業を推進していきます。

令和2年度当初予算においては、引き続き、区画整理地区等への配水管の布設や老朽化した配水管の布設替えにより管路の耐震化を図る経費、浄配水場施設の整備に係る経費等を計上しています。

2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

（1）収益的収支の状況

収益的収入の合計額は13,731,104千円で、前年度に比べ1,361,592千円（11.0%）の増を見込んでいます。増額の主な理由は、給水収益の増によるものです。

収益的支出の合計額は12,372,553千円で、前年度に比べ571,577千円（4.84%）の増となっています。増額の主な理由は、委託料、退職給付費の増によるものです。

（2）資本的収支の状況

資本的収入の合計額は1,849,061千円で、内訳は、企業債1,650,000千円、固定資産売却代金66千円、受託工事収入116,226千円、一般会計の負担金82,769千円となっています。

資本的支出の合計額は6,707,447千円で、内訳は、建設改良費5,007,233千円、企業債償還金1,700,214千円となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額4,858,386千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額412,991千円、減債積立金380,000千円、過年度分損益勘定留保資金2,544,171千円、当年度分損益勘定留保資金1,521,224千円で補てんします。

3 給水状況

令和2年度の総配水量は64,981,000 m³で、このうち、県営水道からの受水量は57,316,000 m³、深井戸からの取水量は7,665,000 m³を見込んでいます。

有収水量は58,736,000 m³、予定有収率は90.39%を見込んでいます。